

科目	数学B	学年	第2学年	開講	通年	必修	2 単位
----	-----	----	------	----	----	----	------

学習目標	- 確率分布と統計的な推測、ベクトル、複素数平面について、概念を理解し、基礎的な知識の習得と数学的処理技能の習熟を目指す。 - 確率分布と統計的な推測、ベクトル、複素数平面について、数学的な思考力・判断力・表現力を身に付けることを目指す。 - 確率分布と統計的な推測、ベクトル、複素数平面について、事象を数学的に考察したり多面的に捉える能力、習得した知識、習熟した技能を的確に活用する能力を伸ばすことを目指す。
------	---

教科書：「数学B、数学C」 啓林館
副教材：「マスグレードα 数学B+C」 啓林館

学習計画及び評価方法

- a 知識・技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点			
							a	b	c	
前期	確率分布と統計的な推測	確率分布	確率変数と確率分布	・確率変数と確率分布について理解し、二項分布、正規分布について学び、統計的な推測の考え方を理解するとともに、様々なデータを論理的に考察し処理できるようにする。	4	中間	○			
			確率変数の平均、分散、標準偏差				○			
			確率変数 $aX + b$ の平均、分散、標準偏差		5		○	○		
			確率変数の和・積の平均と和の分散					○	○	
			二項分布				○	○	○	
		正規分布	連続的な確率変数とその分布				○			
			一様分布				○			
			正規分布				○	○		
			二項分布の正規分布による近似					○	○	
			統計的な推測		母集団と標本		6	○		
		推定					○	○	○	
		仮説検定			7		○	○	○	
		片側検定							○	
		標本調査の活用					○	○	○	
		ベクトル	平面上のベクトルとその演算		平面上のベクトル		8	○		
	ベクトルの和・差・実数倍			9	○					
	ベクトルの成分				○					
	ベクトルの内積				○	○				
	三角形の面積				○	○	○			
	前期 授業評価									
	後期	ベクトル	ベクトルと平面図形	位置ベクトル	・まず、平面上のベクトルの意味や演算、成分および内積などの基本的な概念について理解し、ベクトルを用いて図形の性質を考察する。これらのことを通して、ベクトルの考えが有用なことを認識し、様々な図形の性質などの考察に活用できるようにする。また、空間座標の概念を導入し、その意味や表し方について理解するとともに、平面上のベクトルの考えを空間に拡張して、空間図形の考察に活用できるようにする。	10	中間	○		
位置ベクトルと図形						○		○		
ベクトル方程式						○		○	○	
空間のベクトル			空間の点の座標	11		○		○	○	
			空間のベクトル					○	○	
			空間のベクトルの内積					○	○	
			位置ベクトル	12		○		○		
3点を通る平面上の点						○				
平面の方程式				○		○		○		
直線の方程式				○		○		○		
複素数平面		複素数平面	放物線	・複素数平面上での複素数の演算の図形的な意味を理解し、平面図形への応用などの事象の考察に活用できるようにする。	1	○				
			楕円			○	○			
			2次曲線と離心率			○	○	○		
		平面図形と複素数	平面図形と複素数		2	○	○			
			複素数の図形への応用				○	○		
			方程式の表す図形		3	○	○	○		
			後期 授業評価							

評価の観点

・数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしているかどうか。 ・事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決できるかどうか。

評定の決め方

○知識・技能：定期考查 ○思考・判断・表現：定期考查・レポート ○主体的に学習に取り組む態度：ワークショップ型授業・レポート
--